

## 第1回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和元年6月27日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」は、設置から3年目を迎えました。

自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

### < 委員紹介 > 敬称略

	委員氏名	所属
1	森谷 哲郎	もりやクリニック 院長
2	布施 秀樹	白井聖仁会病院 院長
3	近藤 修一	すまいる歯科 院長
4	鈴木 雅之	レモン薬局 薬局長
5	福岡 幸子	白井市民生委員・児童委員連絡協議会 副会長
6	平野佐代子	さつきの里訪問看護ステーション 看護師
7	根本 朋穂	北総白井病院訪問リハビリ 理学療法士
8	石田 美穂	デイサービス優楽里 管理者
9	福田 深雪	桜台デイサービスセンター主任ケアマネ
10	吉田 浩倫	印西警察署 生活安全課長
11	石戸 等	白井消防署 署長

### ●● 第1回協議会の主な内容 ●●

「在宅医療・介護連携と認知症施策の昨年度までの活動実績報告」を行いました。

協議会の設置から2年が経過し、様々な取り組みが行われてきました。

「救急医療情報キット」の作成・普及、「在宅医療後方支援体制」の運用開始、市民啓発イベント「しろい在宅医療フォーラム」の開催、「認知症初期集中支援チーム」の稼働など、いずれも医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが最期まで続けられる体制を目指して取り組んできたものです。

取り組みを進めていく中で、新たな課題が見つかることもあり、協議会の委員や下記の課題別ワーキングメンバーの協力を頂きながら、今年度も活動を行っていきます。

今年度も、多くの市内医療・介護職等の方にご協力いただき、下記の課題別ワーキング(WG)の活動を開始しています。取り組みについては、今後レポートでご紹介いたします。

在宅医療・  
救急医療連携

多職種連携  
研修企画

市民啓発

入退院時  
連携

認知症対策

今年4月から「在宅医療後方支援体制」（在宅療養患者が入院を必要とする状態になった際、在宅医を介して市内3病院のいずれかが後方支援病院として受け入れる）の運用が開始されています。市外医療機関から在宅医療の提供を受けている市民も制度利用の対象になります。利用にあたっては、事前に登録が必要になりますので、詳しくは白井市地域包括支援センターまで問い合わせください。